

基本政策 2 地域の歴史や伝統文化を通して地域に魅力を感じる

【基本政策の方向性】

地域独自の歴史や伝統文化を学び、体験する機会を通して、郷土に魅力を感じ、愛着と誇りを抱ける“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「歴史の関心度の増加」

地域の歴史、文化の継承を支えるため、市民が率先して学習や体験の場に参加するなど、魅力ある資源として、自分たちのまちの歴史や郷土芸能に関心を持つことを目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
「富士見市で魅力ある資源」のうち、歴史・史跡等の割合（市民意識調査）	20.0%（H30）	⇒ 25.0%（R7）

基本施策

2-1 文化財の保存

文化財を良好な状態で管理できる環境を整備することで、市内に所在する歴史、文化資源を適切に保存し、後世に残していくことを目指します。

【KPI】	現状値	目標値
市指定文化財の件数	延べ33件（R1）	⇒ 延べ36件（R7）

【主な取組】文化財の保存体制の拡充

文化財を適切に保存、活用していくために、資料を効率的に収蔵、管理できる施設を含めた文化財の保存体制を拡充します。

【KSF】	現状値	目標値
保管施設の集約化	3ヶ所（R1）	⇒ 1ヶ所（R7）

2-2 郷土芸能・伝統工芸の継承

市民と協力し、後継者の育成や支援をしていくことで、地域で守り継がれてきた郷土芸能や伝統工芸が途絶えることのないよう継承していくことを目指します。

【KPI】	現状値	目標値
「富士見市で魅力ある資源」のうち、郷土芸能の割合（市民意識調査）	1.6%（H30）⇒	2.0%（R7）

【主な取組】 郷土芸能の継承活動の支援

郷土芸能や保存団体の活動を情報発信するなど、地域の郷土芸能の継承活動を支援します。

【KSF】	現状値	目標値
市指定文化財の郷土芸能保存団体の活動事業数	37 件（R1）⇒	維持（R7）

2-3 文化財の活用

市民が郷土の歴史、文化をまちの魅力と感じられるように、文化財の活用事業を充実します。

【KPI】	現状値	目標値
資料館来館者数 （水子貝塚資料館・難波田城資料館）	99,942 人/年（H30）⇒	110,000 人/年（R7）

【主な取組】 歴史公園・資料館施設の活用

地域の歴史、文化の特徴を生かした講座や体験イベントを企画し、歴史公園や資料館施設を市民との協働により活用します。

【KSF】	現状値	目標値
主催・共催事業実施数	42 回（H30～R1 平均）⇒	210 回（5 年累計）

関連する SDGs ゴール 5



市民に、文化財を通して、質の高い知識を習得する機会を提供します。

関連ターゲット（4-7）



地域の歴史・文化を保存・継承・活用し、文化遺産の保護・保全への意識を強化していきます。 関連ターゲット（11-4）

関連計画等

富士見市教育振興基本計画（平成 30 年度～令和 4 年度）

関連部署

自治振興部 地域文化振興課

教育委員会 生涯学習課、資料館